

新たな沖縄振興計画に向けて

20年後の沖縄を描く計画 沖縄が主体となる計画策定を！

沖縄県が「一括交付金・3000億円」を要求していた新たな沖縄振興の平成24年度予算概算要求・税制改正要望の概要がだされた。結果的にはこれまでと同様の「各省積み上げ方式」の要求である。12月までに更なる金額の積み上げをどの程度出来るのかが、これからの勝負でもある。各省庁が前年度比10%削減をする中で、沖縄だけが増額要求することは、予算と引き換えに政府が「普天間移設問題」に圧力をかけてくる事は予想できる。県は基地とリンクしない根拠をしっかりと整えておかなければならない。

平成24年度 予算概算要求のポイント

- ・沖縄グリーンエネルギー活用推進事業 23.4億円
 - ・沖縄離島移動コスト低減事業 12.4億円
 - ・沖縄子ども育成特別対策事業 17.3億円
 - ・科学技術に関する教育研究推進事業 39.4億円
 - ・鉄軌道等の導入課題検討基礎調査 1,0億円など
- 総額2,437億円(今年度2,301億円)

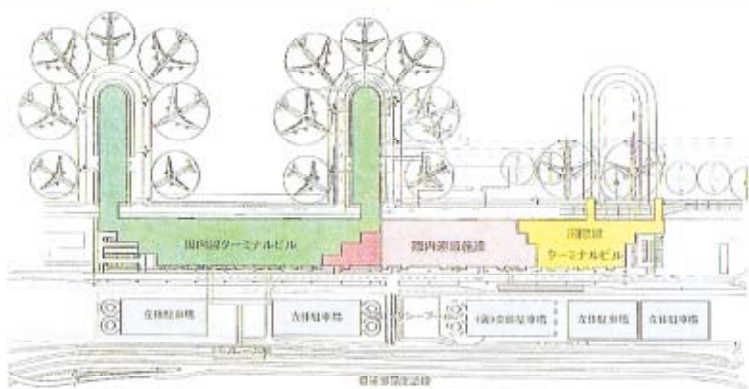


税制改正要望のポイント

- ・国際戦略観光振興地域、自然・文化観光振興地域に係る特例措置(新設)
- ・国際物流拠点産業集積地域に係る課税の特例措置(新設)
- ・産業イノベーション地域に係る課税の特例措置(新設)
- ・沖縄県産酒類に対する酒税の軽減措置(延長)
- ・揮発油に係る揮発油税及び地方揮発油税の軽減措置(延長)
- ・駐留軍用地における公共用地先行取得に係る特例措置(新設)

那覇空港・国際線ターミナルビル計画

那覇空港施設配置



老朽化や狭いことなどから、改築が計画されている国際線ターミナルビルです。

80万～100万人に対応可能とのことであるが、海外観光客200万人に対応する施設が必要である。

2014年3月の完成予定であるが、数次ビザが好調に推移している現状から早期の改築が必要であり、観光政策や予算面からも県の積極的な関わりが重要である。

沖縄県議会議員

當間モリオ



當間モリオ web サイト 携帯からでもご覧になれます。

<http://www.tomamorio.com/>

